平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場会社名　SHO-BI株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7819　URL　http://www.sho-bi.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 寺田　一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 鎌形　敬史　TEL 03-3472-7890

四半期報告書提出予定日　平成24年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	3,796	9.5	283	△28.6	276	△29.3	149	△27.4
23年9月期第1四半期	3,468	8.1	397	34.1	390	17.9	206	△0.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	11.15	―
23年9月期第1四半期	15.37	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	11,525	4,332	37.6
23年9月期	10,740	4,441	41.4

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　4,332百万円　23年9月期　4,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	―	0.00	―	22.50	22.50
24年9月期	―				
24年9月期(予想)		―	―	22.50	22.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,330	5.5	640	△22.9	630	△22.3	380	△15.2	28.34
通期	14,500	8.1	1,320	4.1	1,300	6.9	730	13.2	54.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	13,410,000 株	23年9月期	13,410,000 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	85 株	23年9月期	85 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	13,409,915 株	23年9月期1Q	13,409,915 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
（３）追加情報 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……7
（３）継続企業の前提に関する注記 ……8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間（平成23年10月１日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い、企業の生産活動や個人消費が持ち直しの動きが見られるものの、欧州の財政危機を背景にした世界経済への悪影響、タイの洪水の影響や長引く円高、株価の変動など景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社は雑貨（ＺＡＣＣＡ）の総合企画メーカーとしてのブランドを確立するため、営業部門、商品企画部門の更なる連携を図るとともに、「新しい事業、新しい販路、新しい調達拠点、新しい商品」への取り組みにより、新規事業、海外事業部門を立ち上げ、組織体制の強化を図り、新商品の開発をはじめ全ての面において信頼される商品力を構築して、自社企画商品の更なる販売に努めてまいりました。これらの活動に伴い、既存販売先及び新規販売先との取引の深耕が図られ、自社ブランドであるデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズをはじめとするアイメイク関連商品及び冬物季節商品等の自社企画商品売上が順調に推移いたしました。

これらの結果、当第１四半期累計期間の売上高は、3,796,686千円（対前年同期比9.5％増）となりました。また、デコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズ、「ＢＲＩＧＩＴＴＥ」など、新ブランドの立ち上げに伴う広告宣伝費等のコストが先行的に発生したため、営業利益は283,520千円（対前年同期比28.6％減）、経常利益は276,163千円（対前年同期比29.3％減）、四半期純利益は149,554千円（対前年同期比27.4％減）となりましたが、平成23年11月10日に公表いたしました「平成24年９月期業績予想」の計画どおり順調に推移しております。

事業部門別の状況は次のとおりであります。

＜ヘルス＆ビューティー事業＞

主要販売先である総合スーパー向け売上（ヘルス＆ビューティー事業における売場）は、業界が厳しい状況の中で、販売先との取引深耕を図り、自社ブランドのデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズのアイメイク関連商品及び冬物季節商品等の自社企画商品の導入が順調に推移いたしました。また、ドラッグストア向け売上も、新規販売先の獲得をはじめとして既存販売先との取引深耕により販売が順調に拡大し、自社企画商品であるアイメイク関連商品、冬物季節商品等の販売が順調に推移いたしました。この結果、当第１四半期累計期間の売上高は1,390,832千円（対前年同期比15.7％増）となりました。

＜ファンシー・キャラクター事業＞

総合スーパー向け売上（ファンシー・キャラクター事業における売場）は、業界が厳しい状況の中、文具、ギフト商品、別注商品（注）等の自社企画商品の導入が順調に推移いたしました。また、自社ブランドのデコラティブ・アイラッシュ「ＰＬＡＹ ＧＩＲＬ」シリーズのアイメイク関連商品、キャラクター商品、冬物季節商品等の自社企画商品が主流のバラエティストア向け売上、ディスカウントストア向け売上、卸売業者向け売上も順調に推移いたしました。この結果、当第１四半期累計期間の売上高は、2,002,360千円（対前年同期比3.2％増）となりました。

（注）別注商品とは、販売先と共同で企画し、販売先に販売権があり発売元表示が当社である商品です。

＜その他事業＞

主要販売先でＯＥＭ商品の受注先である100円均一ショップ向け売上が、在庫調整が一巡したことで、納期変更が無くなり順調に推移いたしました。この結果、当第１四半期累計期間の売上高は403,492千円（対前年同期比23.5％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

①資産

当第１四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べて785,117千円増加し、11,525,696千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて39,830千円減少し、6,984,229千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が801,646千円、商品が216,610千円、貯蔵品が35,537千円増加し、現金及び預金が1,048,568千円、その他が44,967千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて824,947千円増加し、4,541,467千円となりました。これは主に、大阪本社移転予定に伴う不動産の購入等により有形固定資産が938,193千円増加し、投資有価証券の償還などにより投資その他の資産が109,818千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第１四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて893,990千円増加し、7,193,061千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて996,432千円増加し、4,915,209千円となりました。

これは主に、買掛金が281,435千円、短期借入金が1,000,000千円増加し、1年内返済予定の長期借入金が68,300千円、未払法人税等が155,466千円、賞与引当金が74,281千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて102,442千円減少し、2,277,852千円となりました。

これは主に、資産除去債務が28,619千円増加し、長期借入金が130,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第１四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べて108,873千円減少し、4,332,635千円となりました。

これは主に、繰延ヘッジ損益が46,858千円増加（マイナスの減少）し、利益剰余金が152,168千円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

当第１四半期までの業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。平成23年11月10日に公表いたしました平成23年９月期決算短信記載の「平成24年９月期の業績予想」に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,418,420	2,369,852
受取手形及び売掛金	2,319,102	3,120,749
商品	820,885	1,037,495
貯蔵品	92,119	127,657
その他	375,641	330,674
貸倒引当金	△2,110	△2,200
流動資産合計	7,024,059	6,984,229
固定資産		
有形固定資産	1,072,081	2,010,274
無形固定資産	150,669	147,242
投資その他の資産		
投資不動産	1,767,076	1,758,550
その他	731,248	626,452
貸倒引当金	△4,555	△1,053
投資その他の資産合計	2,493,768	2,383,950
固定資産合計	3,716,519	4,541,467
資産合計	10,740,579	11,525,696
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,642,478	1,923,913
短期借入金	－	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,004,700	936,400
未払法人税等	226,994	71,528
賞与引当金	124,561	50,280
返品調整引当金	29,700	38,400
資産除去債務	23,794	23,814
その他	866,548	870,872
流動負債合計	3,918,776	4,915,209
固定負債		
社債	650,000	650,000
長期借入金	1,105,000	975,000
退職給付引当金	140,731	136,651
役員退職慰労引当金	371,650	375,103
資産除去債務	－	28,619
その他	112,912	112,477
固定負債合計	2,380,294	2,277,852
負債合計	6,299,070	7,193,061

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年９月30日)	当第１四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	3,868,256	3,716,088
自己株式	△52	△52
株主資本合計	4,678,017	4,525,849
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,831	△14,395
繰延ヘッジ損益	△225,677	△178,818
評価・換算差額等合計	△236,508	△193,213
純資産合計	4,441,509	4,332,635
負債純資産合計	10,740,579	11,525,696

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	3,468,472	3,796,686
売上原価	2,260,314	2,501,802
売上総利益	1,208,158	1,294,884
返品調整引当金戻入額	32,400	29,700
返品調整引当金繰入額	39,600	38,400
差引売上総利益	1,200,958	1,286,184
販売費及び一般管理費	803,635	1,002,663
営業利益	397,323	283,520
営業外収益		
受取利息	1,777	1,649
受取配当金	728	2,756
不動産賃貸収入	60,427	57,904
その他	2,372	6,970
営業外収益合計	65,306	69,281
営業外費用		
支払利息	10,823	8,535
不動産賃貸費用	23,365	19,487
為替差損	35,490	42,494
その他	2,215	6,121
営業外費用合計	71,895	76,638
経常利益	390,733	276,163
特別利益		
貸倒引当金戻入額	207	－
特別利益合計	207	－
特別損失		
投資有価証券評価損	13,360	－
本社移転費用	－	6,413
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,284	－
特別損失合計	19,644	6,413
税引前四半期純利益	371,296	269,749
法人税、住民税及び事業税	118,280	69,200
法人税等調整額	46,935	50,993
法人税等合計	165,215	120,194
四半期純利益	206,080	149,554

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。